

チアメトキサム・ルフエヌロン水和剤 リーズン顆粒水和剤	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ， シンジェンタ
成分： チアメトキサム〔ネオニコチノイド系〕……………10.0% ルフエヌロン〔IGR脱皮阻害剤 PRTR・2種〕……………5.0% その他 PRTR 該当成分： 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩〔PRTR・1種〕……………1%	性状： 類白色水和性細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】 ……………

- 茶の主要新芽害虫（チャノキイロアザミウマ，チャノミドリヒメヨコバイ，チャノホソガ）に安定した効果を発揮する。
- チャノホソガに対して，茶の萌芽直前から開葉期までの防除効果が期待できる。
- 茶の摘採7日前まで使用可能。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 脱皮を阻害してやがて死亡させる成分を含むので，アゲハ類等のチョウ目害虫には幼虫期に早めに散布する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 茶でチアメトキサム及びルフエヌロンを含む農薬を使用した場合は，同一茶期内では本剤を使用はしない。

【安全対策上の注意】 ……………

- ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので，以下のことに注意する。
 - ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ及びマルハナバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので，河川，養殖池等に飛散，流入しないよう使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	チアメトキサムを含む 農薬の総使用回数	ルフエメロンを含む 農薬の総使用回数
りんご	クワコナカイガラムシ ハマキムシ類 シンクイムシ類 ヨモギエダシャク	2000 倍	200～ 700 ℓ	14 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内	3 回以内
	ギンモンハモグリガ キンモンホソガ アブラムシ類 リンゴサビダニ	2000～ 3000 倍			3 回 以内		3 回以内	
みかん	チャノキイロアザミウマ アゲハ類			21 日前 まで	1 回		1 回	
かんきつ (みかん を除く)	ミカンハモグリガ ミカンサビダニ ゴマダラカミキリ成虫							
てんさい	アブラムシ類 ヨトウムシ カメノコハムシ シロオビノメイガ	3000 倍	100～ 150 ℓ	14 日前 まで	2 回 以内		5 回以内 (種子への 処理は 1 回 以内、苗床 灌注は 1 回 以内、散布 は 3 回以内)	2 回以内
茶	チャノホソガ チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ ヨモギエダシャク チャハマキ チャノコカクモンハマキ	2000 倍	200～ 400 ℓ	摘採 7 日 前まで	1 回		1 回	1 回